

網走市観光振興計画 2026



A B A S H I R I

はじめに

網走市では、平成 31 年 3 月に「網走市観光振興計画 2019」を策定し、地域資源を活かした“おいしいまち”網走の確立を目指してまいりました。しかし、この間の観光市場は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行という未曾有の事態を経て、大きな変革期を迎えました。

国内外の観光情勢に目を向けると、移動制限の解除を経て、旅の活気は力強く戻っています。直近の訪日外国人客数は過去最多を更新し、消費額も規模が大きく膨らむなど、観光市場は単なる回復を超えた新たな成長ステージに突入しました。

また、旅行者の志向は「モノ消費」から「コト消費」へ、さらには、その場所で過ごす時間そのものに価値を見出す「トキ消費」へと変化しています。あわせて、地域の自然や文化を守りながら旅を楽しむ姿勢や、デジタル技術による旅の利便性向上など、観光のあり方はこれまでにない広がりや深まりを見せています。

本市の動向においては、観光入込客数は着実に増加しつつあるものの、依然として目標値には届かない現状にあります。特に、インバウンドのさらなる取り組みや、食をはじめとする地域資源を活かした誘客、閑散期の対策は喫緊の課題です。また、道外客比率が極めて高いという強みを持つ一方で、宿泊を伴わない通過型観光からの脱却や、体験コンテンツの不足による消費機会損失といった課題も浮き彫りとなりました。

このような市場の変化と課題を踏まえ、本市では「網走市総合計画 2018-2027」に掲げる将来像「豊かな自然に ひと・もの・まちが輝く健康都市 網走」の実現に向け、農業・漁業に並ぶ経済の柱として観光の基幹産業化をより推進すべく、2026 年度からの 5 年間を期間とする「網走市観光振興計画 2026」を策定しました。

網走には、世界に誇る流氷をはじめとする自然景観や、豊かな大地と海が育む美食、この地に深く根差した独自の歴史文化といった、ここにしかない地域資源が豊富に揃っています。これらの魅力をさらに磨き上げ、世界に選ばれる観光地づくりを推進することで、観光によって生まれる活力を地域経済の活性化や市民の皆様の暮らしを豊かにすることに繋げてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、熱心にご討議いただき、貴重なご意見を賜りました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

令和 8 年 3 月

網走市長 水谷 洋一

目 次

第 1 章 基本姿勢（背景・目的）	1
1-1 観光振興計画改定の主旨	2
1-2 めざす姿	3
第 2 章 観光を取り巻く市場環境と課題	5
2-1 市場環境	6
2-2 観光マーケットの動向	8
2-3 北海道の動向	13
2-4 網走市の動向	18
第 3 章 課題の整理	33
3-1 網走市観光振興計画 2019 の進捗状況	34
3-2 網走市観光の課題整理	36
3-3 網走市の強みと弱みの整理	38
第 4 章 振興計画の概要	41
4-1 観光振興計画の目標	42
4-2 基本方針	44
4-3 推進体制	45
第 5 章 施策の体系	47
5-1 戦略および実施施策一覧	48
5-2 事業内容	51